

# I. 能力開発研究センターの概要

## 1. 設立の目的と業務概要

### (1) 目的

技術革新の進展、高齢化社会の到来、女性労働者・ホワイトカラーの増大、フリーター等の増大、サービス経済化の進展等社会産業構造の変化が進展している状況の中で、職業能力開発を効果的に推進するためには、職業能力開発ニーズや訓練受講対象者の変化等に対応した職業訓練の企画・実施方法等変化への対応が必要となっている。

能力開発研究センター（以下「研究センター」という。）は、これら変化に対応するため、「教材・訓練コース等の開発」、「訓練技法・評価等の開発」、「職業能力開発の実践に必要な調査研究」、「職業能力開発に関する情報発信」に取り組み、これら成果を広く職業能力開発総合大学校ホームページ等で発信することや、情報交換の場の提供等を行うことにより職業能力開発の実践現場を支援することを目的としている。

### (2) 平成23年度業務の概要

#### ア. 企画調整部

企画調整部には3室があり、次のような活動を行った。

- ① 企画調整室では、研究センターの運営方針等の企画調整の業務を行った。
- ② 普及促進室では、研究センターの調査・研究、開発成果を全国の職業能力開発施設等に対して広報・普及するとともに「第19回職業能力開発研究発表講演会」を開催した。  
また、「職業能力開発報文誌」等専門情報誌の編集・発行を行った。
- ③ 職業訓練教材整備室では、情報発信システム「職業能力開発ステーションサポートシステム (<http://www.tetras.uitec.jeed.or.jp/>)」（愛称：テトラス）による情報提供を行った。  
また、当室では職業能力開発論文コンクールの審査業務も行った。

#### イ. 開発研究部

開発研究部には5研究室があり、次のような活動を行った。

- ① 高度訓練研究室では、職業能力開発大学校等の標準カリキュラムの見直しを行うとともに、「特別な配慮が必要な学生等への支援・対応ガイド」を作成した。  
また、「新訓練科（高度職業訓練専門課程及び応用課程）の試行検証に関する調査研究」を行った。
- ② 在職者訓練研究室では、在職者訓練カリキュラムの精査等を行うとともに、「精神障害者に対する効果的な職業訓練に関する調査研究」、「業種別職業能力開発体系の構築に関する調査研究」、「職業訓練の質保証に係る要員養成に関する調査研究」を行った。

- ③ **教材研究室**では、普通職業訓練・普通課程用教科書4教科書の改定を行った。  
また、「分野別実践的カリキュラムの設定に係る基礎研究」として「電気・電子、情報・通信、非金属加工、繊維・繊維製品分野に係る基礎研究」を行った。
- ④ **訓練技法研究室**では、離職者訓練カリキュラムモデルの検討等を行うとともに「離職者訓練用訓練課題の開発及びメンテナンスに関する調査研究」、「求職者に対する訓練コースのコーディネート等に関する調査研究」、「求職者支援法の創設に基づき実施される訓練の質保証に関する調査研究」、「離職者訓練の実施に係る訓練用教材等のあり方についての調査研究」を行った。
- ⑤ **調査研究室**では、「総合的かつ体系的な職務分析の推進に関する調査・研究」及び「公共職業訓練の効果測定手法に関する調査研究」を行った。